

地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価（自己評価）について

1 趣旨

本市の市内公共交通については、令和4年度から、国の補助メニューである地域公共交通確保維持改善事業費補助金を活用しているが、標題補助金交付要領では、補助対象事業のより効果的、効率的な推進に資するため、「毎年度、協議会自らによる事業の実施状況の確認、評価を行い、結果を1月下旬までに協議会から地方運輸局に報告・公表することとする」と定められていることから、対象路線の実績について自己評価を行うもの。

2 評価の対象

(1) 路線

広田線、広田半島線、生出線、長部今泉線、たかたコミュニティバス西部線、デマンド交通中平・坂下・小黒山エリア、同気仙エリア、同小友・広田エリア
計8路線

(2) 期間

令和6年10月～令和7年9月

3 評価のポイント

別表のとおり

4 今後の改善点

(1) 共通事項

ダイヤ改正に係る時刻表や陸前高田市地域公共交通マップの全戸配付をはじめとした周知に努める。

(2) 特記事項

ア 生出線

現在の運行を引き続き継続する。

イ 広田線、広田半島線

経路や便数の見直し、フリー乗降区間の拡大などを進めて利便性向上を図る。

ウ 長部今泉線

利用者層の拡大に努めるとともに、ふるさとタクシー助成やモビタ、たかたスマートモビリティなど他の移動手段との役割分担を図る。

エ たかたコミュニティバス西部線

たかたスマートモビリティによる路線代替の可能性について検討する。路線定期運行を維持する場合は、路線の統廃合や便数の整理を行う。

オ デマンド交通中平・坂下・小黒山エリア

ふるさとタクシー助成など地域に見合った他の移動手段の提供について検討を進める。

カ デマンド交通気仙エリア

たかたスマートモビリティが当該エリアの一部を対象としていることから、モビタなど既存の移動手段を含めた役割分担を検討する。

キ デマンド交通小友・広田エリア

現在の運行を引き続き継続するが、その内容については見直しを進める。

5 東北運輸局に報告する内容

資料4別添のとおり

別表 評価のポイント

対象路線	運行事業者		目標値※1	実績値	達成率	判定※2	備考
生出線	(有)奥州交通	1 回 当 た り 利 用 者 数	4.0人/回	5.4人/回	135%	A	国庫補助対象
広田線	碁石観光(株)		4.0人/回	3.7人/回	92.5%	B	全日系統は国庫補助対象
広田半島線			3.0人/回	1.8人/回	60%	C	全日系統は国庫補助対象
長部今泉線	(株)気仙タクシー、高田タクシー(有)		2.0人/回	2.5人/回	125%	A	平日系統は国庫補助対象
たかたコミュニティバス西部線			2.0人/便	1.0人/便	50%	C	補助対象外
デマンド交通中平・坂下・小黒山エリア		30%以上	2.0%	6.7%	C	補助対象外	
デマンド交通気仙エリア	R6.10～R7.3:(有)高田交通 R7.4～R7.9:(株)気仙タクシー、高田タクシー(有)	運 行 割 合	30%以上	24.6%	82%	C	補助対象外
デマンド交通小友・広田エリア			40%以上	50.8%	127%	A	国庫補助対象

※1：目標値は、令和7年度地域内フィーダー系統確保維持計画認定申請時に定めた数値。定期運行は1往復＝1回とする。

※2：判定は、A判定が達成率100%以上、B判定が100%未満80%以上、C判定が80%未満または補助対象外。